

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	子育て支援課
会議名 (審議会等名)	第1回嬉野市子ども・子育て会議	
開催日時	平成30年11月19日(月) 10:00～11:00	
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎 3-2会議室	
会議の公開の可否	ⓐ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	溝口委員、西田委員、荒木委員、坂口委員、熊委員 籠委員、伊東委員、原田委員、西田委員、中島委員 光岡委員、徳永委員、中野委員、本村委員
	事務局	子育て支援課長、子育て支援課副課長、子育て支援課係員
	その他	
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	(1)「地域子ども・子育て支援事業」について (2)「子ども・子育て支援事業計画」について (3) その他	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	子育て支援課
議 題	1 「地域子ども・子育て支援事業」について 2 「子ども・子育て支援事業計画」について		
内 容	事務局から、地域子ども・子育て支援事業及び子ども・子育て支援事業計画の平成29年度実施状況について説明し、質疑応答を行い了承を得た。		
審議経過	事務局	<p>(1)「地域子ども・子育て支援事業」について</p> <p>① 【利用者支援事業】 第1期計画では、27年度から市役所の塩田庁舎に1か所整備するということで計画されていたが、31年度からこどもセンターを塩田の保健センター内に開設し、利用者支援事業を行っていく予定である。事業の実施がなかったため、29年度は、評価自体ができないと考える。</p> <p>② 【地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）】 29年度の実績は、嬉野の子育て支援センター（1か所）で行った。実利用者数は、嬉野地区の方で29年度5,622人、塩田地区の方で154人の利用があった。子育て支援センターを子育て支援の拠点と位置づけし、また塩田地区では楠風館の方で、あそびのひろばを開催し、子育て中の保護者に対して育児不安や孤立化の緩和を図った。子育て中の親同士の交流や情報交換も活発に行えた。課題・問題点は、利用者がなかなか増えないことで、行事等の周知不足もあろうかと思われる。10か月訪問や赤ちゃん相談時にパンフレットの配布等に努めたい。塩田地区の利用者が嬉野地区と比べると少ないので、利用者の拡大を図るために、ベビーマッサージの利用者などへ声掛けを行っていききたい。29年度評価は、前年より利用者が下がっており、内容を工夫する必要があると考え、一部見直しの余地があるということで△としたい。</p> <p>② 【妊婦健診事業】 29年度実績は、実利用者数200人の利用があった。母子手帳交付時に各個人と面接することで、問題点の助言や指導を適切に行った。妊婦が費用の心配をせずに健康診査を受診することができ、安心して出産を迎えることができた。課題・問題点として、少子化に歯止</p>	

めをかけるためには制度を充実させていく必要がある。29年度の事業は確実に行われたので評価は○としたい。

④【乳児家庭全戸訪問事業】

29年度の実利用者数は183人の利用があった。原則生後2か月児のいる家庭を訪問し、そこで様々な不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供や助言、指導を行った。課題としては近年複雑な家庭環境(DV等)で育つ子もいるため、関係機関と連携して支援をしていく必要がある。29年度は確実に事業が実施されたので、評価は○としたい。

⑤【養育支援訪問事業】

29年度の実績は、実利用者数9世帯で、延訪問回数は16回。養育環境に問題がある家庭に対し、保護者等の専門的な相談支援を実施した。そこで様々な不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供や助言、指導を行った。課題は、核家族が増加している影響もあり、以前と比べ乳児への虐待が増加傾向にある。そのため、関係機関と連携して支援をしていく必要がある。事業の方は確実に実施したので評価は○としたい。

⑥【子育て短期支援事業(ショートステイ事業、トワイライト事業)】

実績はここ数年0である。この制度があることで、保護者の就労時や緊急時に児童を安心して預けることができる。ここ数年は年末・年始時期に預けたいという相談が何件かあったものの、利用はなかった。体制としてはショートステイ・トワイライトステイともにニーズがあった時を想定し体制は整えているので評価は○としたい。

議長
委員

① から⑥までの事業について、質疑をお受けします。

「地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)」について、嬉野地区、塩田地区で利用実績数に差があるが、それぞれの地区で子育て世帯の何%が利用されたかはわかりますか。

事務局

子育て世帯の何%かというのは出していませんが、人口比率でいくと、嬉野地区：塩田地区が2：1位の割合です。実利用者数が嬉野地区と塩田地区で開きが大きいのは、嬉野地区については、嬉野庁舎の1階に子育て支援センターがあり、月曜から金曜まで週5日開いているのに対して、塩田地区については出張的な開催のため、ベビーマッサージ等の行事を入れて月に4回程度で、開催回数自体が少ないので数に開きが出ています。

委員

内容に差はありますか。

事務局

内容に差は特にないのですが、塩田地区は職員が楠風館に出張し

<p>委員</p>	<p>て行事を行っていますので、嬉野で行うようにたくさんの行事は行えていない状況です。</p>
<p>委員 (保健師)</p>	<p>「養育支援訪問事業」について、養育環境に問題がある家庭に対してということですが、これはどういった方法で把握をされているのかとか、把握の仕方に難しさとか感じておられたりするのかお問い合わせしたいです。</p> <p>養育支援訪問事業について、養育環境の把握は、まず「乳児家庭全戸訪問事業」で、生後2か月の赤ちゃんを対象にほぼ全戸の家庭訪問をしており、その時にあがってきた情報や、妊娠中から経過を見ていく必要があるご家庭については、産婦人科等から事前に連絡もありますので、そういう状況から把握し、産婦人科を退院される時に、病院と連携を取ってカンファレンス等を行って、どういった支援をしていったらいいかと検討をして関わらせてもらっています。</p> <p>例えば、子育てをする上でお母さんがメンタル面での病気をお持ちですとか、身体面で不自由だったり、あと家庭でなかなか育児を支援してくださる方がおられない時に、生後間もなくから関わりをさせていただいて支援をしているような状況です。基本的には保健師が訪問するのですが、家事の支援が日常的に必要ということであれば、ヘルパーを派遣して日常の家事の支援を行っています。</p>
<p>委員</p>	<p>こどもセンターについて楽しみにしています。子育て支援課の思い通りにある程度進みそうですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>塩田保健センターの1階の機能訓練室を半分利用させていただいて、壁や照明を明るくして利用者の方が来やすいように改修を予定しています。トイレのベビーシートの設置もする予定です。来年度途中からの開所を目指しています。</p>
<p>委員</p>	<p>子育て支援センターを今年の8月に、「子ども1日民生委員」という事業の中で、子ども達を引率して見学をしてまいりました。広い昼の場所で遊具もあり、子ども達が楽しく遊んでおりましたし、お弁当を持って来られている親御さんもいらっしゃいました。子どもさんは離乳食を食べて、親御さんはお弁当を食べて、お母さん同士で離乳食の情報交換をされたり、お友達になったり、いい雰囲気でした。お母さん達にインタビューしたら、住んでいるアパートと違って広いので、しっかり遊んで、夏は水遊びもでき、帰ったらぐっすり眠ってくれるのでとても助かりますとおっしゃっていました。そこで知り合ったお友達とラインなどで交流もできるようになったとおっしゃっていました。またセンターの職員さんから子育てや離乳食等についてのアドバイスをもらえるのでいいですとおっしゃっていました。民生委員会の時にも内容を皆さんに紹介し、支援センターをご案内してくださいと呼びかけをしております。</p>

事務局

⑦ 【子育てファミリー・サポート事業】

29年度実績は、実施場所は1か所で延利用者数が171人。一時的に家庭での保育が困難になった場合に児童を一時的に預かったり、保育所や学童保育クラブのお迎えや病院への送迎など行った。29年度は、利用料金の補助を行ったので実績が増えた。事業は十分に行えたと考え評価は○としたい。

⑧ 【一時預かり事業】

29年度は、市内保育所6か所で行い、延利用児童数が308人。保護者のリフレッシュや就労等に合わせた利用等ニーズに合わせた実施ができた。ただ緊急な預かりということで、通常の利用定員がいっぱいの時は預けられないという場合があるようである。事業自体はできており評価は○としたい。

⑨ 【延長保育事業】

29年度の実施箇所は10か所で、実利用者数が222人で前年と変わらないくらいの実績だった。早朝・夕方の保育のニーズに対応することで、保護者の就労等、通常の時間に送迎できない場合でも安心して働くことができる体制を整えることができた。今後も継続した事業実施が必要と考える。事業は確保し実施できたので評価は○としたい。

⑩ 【病児保育事業】

29年度実績は、38人で市内の樋口医院で実施した。病後児保育に加え病児保育も実施するようになったので、子育て世代の支援へ繋がったと考えている。今年度から武雄市も病児保育を開始され、保護者の利用の選択肢が増えるようにと本市も協定を結んだ。29年度の事業は確実に実施できたので評価は○としたい。

⑪ 【放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）】

29年度の開設箇所12か所で実利用者数は580人。利用のニーズに合わせて施設整備等も行い、29年度から五町田小学校に専用施設（学童クラブ室）を2教室整え、今年度嬉野小学校に4室、久間小学校に2室専用棟を建てる計画で、4月からは専用棟で実施できる予定。課題・問題点として、毎年児童の受入数が多くなり、特に夏休み等の利用が増えている状況にある。事業は行っているものの、利用が増えており、待機児童の解消やそれに伴う施設整備、受益者負担（保護者負担金）の見直しも必要と思われ、一部見直しの余地があるとして、評価は△としたい。

議長
委員

⑦から⑪の事業について質疑をお受けします。

放課後児童クラブのことで、本校も来年度4月から新しい教室を作っていただいております。夏休みの利用が非常に多く、今

		でも産業文化センターで夏休みだけ利用するという状況があるので、非常に難しいところかも知れませんが、現状に満足することなく、保護者のニーズに少しでも応えていただけるような施策をお願いしたいです。
委員		ファミリー・サポート事業で、利用児童数 171 人ということですが、まかせて会員の何人くらいで 171 人をみられたのでしょうか。
事務局		まかせて会員数は 50 ちょっといらっしゃいますが、実働されている方は 20 人弱くらいかと思います。
委員		料金の補助をしていただいて、保護者は助かっておられると思います。個人負担が 500 円というのは、佐賀県内だいたいそれくらいが多いでしょうか
事務局		近隣を調べて合わせてあると思います。
委員		放課後児童クラブが久間小に 2 室できるということですが、どの辺にできるかはわかっていますか。
事務局		場所は、入ってすぐの駐車場の所に建設予定です。今の駐車場を横にずらす予定です。現在は 1 クラブで 40 人が定員ですが、4 月から 2 クラブで定員 80 人の施設を建設予定です。
委員		6 年生まで増やされますか。
事務局		今も 6 年生までではあるのですが、実際は入れない待機の児童がいたので、そこも補えるように考えています。
委員		ファミリー・サポート事業で、利用料金の補助をしているということでしたが、今後も補助は続ける予定でしょうか。
事務局		保護者の負担軽減になりますので、継続していきたいと思います。
		(2)「子ども・子育て支援事業計画」について
議長		何か質問等ありましたらお受けしたいと思います。市の方からいっらか説明をされますか。
事務局		事業計画の取組状況の中で「子育て応援ブック」を作成したのが出ていたと思います。昨年「嬉野子育て応援リーフレット」というのを、子育て支援課や教育委員会、福祉課、健康づくり課等が集まり冊子が出来上がりました。出生届出の際に御家庭にお配りして、0 歳から始まって、まず誕生したら名前をつけて出生届を出すところから始まり、それぞれの時期に応じて、健診のお知らせが来る、学校の入学前に相談等がある等、子どもが小学生・中学生を経て最後は義務教育が終わるところまでの流れを示して、そこに関わる担当課の連絡先を明記して、お尋ねしてくださいというものを作成しました。回覧しますのでご覧ください。
議長		現在の取組状況を示したものでですか。

	<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員 (学校教育課)</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>例えば初めてのお子さんの時は、義務教育を終えるまでに、どの時期に何があるというのがわからないと思いますので、そこをお示しできるようにと作成しました。</p> <p>この間、久間小学校から「地域の皆さん、今から下校しますので見守りをお願いします。」と放送があるのを聞きました、これはどこでもあっているのでしょうか。</p> <p>嬉野小も今年から始めていただいています。やっている学校とやっていない学校とあります。そうやって見守っていただけると非常に助かるところです。学校の状況に合わせて、細かい部分は各学校の校長先生にお任せしているところです。</p> <p>月1回位で行っております。</p> <p>(3) その他 今後の会議の日程及び第2期子ども・子育て支援事業計画策定についてのスケジュールについて説明し、委員の了承を得る。</p>
<p>その他</p>		